



「ディスカバー農山漁村の宝アワード」応募用紙（団体用）

| | | | |
|-----------|-----|----------|--------|
| 都道府県名（必須） | 〇〇県 | 市町村名（必須） | 〇〇郡〇〇町 |
|-----------|-----|----------|--------|

| | |
|-------------------------------|------|
| 団体名（必須）※応募フォームと同一名称で記入してください。 | 〇〇協会 |
|-------------------------------|------|

1. 団体の概要（必須） ※設立年、組織、構成員、構成員数、役割分担等の実施体制を記入してください。

設立年：〇年〇月、構成員会員：〇名

〇〇会員：〇事業所

〇〇会員：〇事業所（〇〇協カメンバー）

〇〇会員：〇事業所（〇〇担当）

2. キャッチフレーズ（必須） ※20字以内で記入してください。

〇〇県産の〇〇で〇〇発信

3. 活動のきっかけ（必須） ※200字以内で記入してください。

〇〇町は、〇〇を用いて初めて〇作りを成功させた〇〇発祥の地。現在〇〇県を代表するブランド〇は、〇〇である。この歴史的偉業があまり知られていない現状と人口減少等による地域の衰退を打破し、〇〇業者の経営の安定化という課題を解決するために、平成〇〇年より活動。平成〇〇年からは熱意ある〇〇が〇〇の復活栽培で参画し、農業振興にも寄与することで、地域の活性化を目指す。

4. 取組概要（必須） ※50字以内で記入してください。

〇〇の復活栽培で、加工品の企画・開発等を行うことにより、住民の誇り醸成と地域活性化を図る。

5. 取組の具体的内容及び成果（効果）（必須）

※応募フォーム「該当する取組」で選択した項目についての活動内容、時期及びその成果（効果）を600字以内で記入してください。（地域資源の活用、他地域への影響、多様な関係者との連携、デジタル化・輸出・グリーン化・食料安全保障強化などへの取組内容、情報発信、取組の持続性・継続性、所得・雇用の増大、消費者の視点に立った取組、地域活性化への貢献、地産地消への取組などの観点から記載願います）

- ①〇〇の復活栽培で、県内での〇作りが成功した明治時代の原風景が復活 = 当〇〇会は連携先である農家(〇〇)に栽培委託を行うが、同社は〇年以上も殺虫剤を使用しない他、有機肥料使用で低農薬に拘り農業を営んできた。〇年前には田んぼに“〇〇”が戻り、〇〇が栽培されていた頃の原風景が広がり、PR活動に大きな影響をもたらした他、〇〇使用の商品開発にも大きく貢献した。
- ②〇〇使用による商品開発で事業者の経営安定化に寄与 = 〇〇の栽培により、委託先〇〇には生産活動のPR効果で、生産・販売への安定化に寄与。また、〇〇業者では希少な〇〇使用による新たな商品が数多く誕生し、課題でもあった特産品開発に寄与（〇社が取組）。平成〇〇年には難しかった〇〇の増産にも成功し、〇〇製造もできた（〇社が取組）。〇〇製造により副産物である〇〇使用の商品も数多く誕生した（〇社が取組）。
- ③〇〇キャラクターによる活動 = 〇〇を広くPRする目的で、“〇〇”（〇〇キャラクター）を平成〇〇年に誕生させた。市内外の様々なイベントへ出演し、当市の歴史的資産である〇〇のPRで、幅広い世代への周知活動に効果をあげてきた。（平成〇〇年ゆるキャラGP、県〇位、全国〇位）令和〇年度は、コロナの影響でのイベント自粛等で出演機会が激減。

| 6. 活動実績 (必須) ※「項目」は、具体的な活動内容(来訪者、売上等)ごとに記入してください。 | | | | | | | |
|---|--|-------|-------|-------|-------|-------|---------------|
| 項目 | 単位 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 (見込み) |
| 〇〇の作付面積 | 反 | 3 | 3 | 3 | 6 | 6 | 7 |
| | 解説: 手間がかかり当初は手作業となっていた作付け面積 | | | | | | |
| キャラクター使用によるPR活動 | 回 | 20 | 25 | 30 | 10※ | 2※ | 2※ |
| | 解説: キャラクター出演による町のPRに寄与 | | | | | | |
| 〇〇使用商品による展開 | アイテム | 10 | 17 | 18 | 21 | 22 | 22 |
| | 解説: 主な輸出先は〇〇国、〇〇国、〇〇国等です。 | | | | | | |
| 〇〇製造・販売による取組 | 千円 | 0 | 1,234 | 2,234 | 2,123 | 2,324 | 2,000 |
| | 解説: 新型コロナウイルス感染症拡大以前は多くの人が関心をもって視察に来ていました。 | | | | | | |

※R2年度、R3年度及びR4年度について、実績値が新型コロナウイルス感染症を原因とした減少である場合は、その実績値に「※」を記入してください。また、新型コロナウイルス感染症関連で実績に影響がある場合は、「5. 取組の具体的内容及び成果(効果)」に影響を踏まえた対応や工夫を記入してください。

| 7. 活動の主な変遷 (必須) ※活動の主な変遷について記入してください。 | | | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------|--|---|---|---|--------------------------|
| 初年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | R5年度 (見込み) |
| 〇〇内に、〇〇プロジェクト会発足(H〇) | 〇〇の栽培 〇〇使用商品 開発・ゆるキャラでのPR | 〇〇の栽培 〇製造 (950本) 商品開発・ゆるキャラでのPR | 〇〇の栽培 〇製造 (1000本) 商品開発・ゆるキャラでのPR | 〇〇の栽培 (50a→60a) 〇製造 商品開発・ゆるキャラでのPR | 〇〇栽培 新たな〇〇 開発取組み (〇〇商品で 販売実績なし) | 〇〇栽培 新たな〇〇 製品開発取組み |

| 8. 今後の展開方向 (必須) ※200字以内で記入してください。 |
|--|
| ※期待できる地域等への波及効果や取組を持続していくための方策などがあれば併せて記入してください。 |
| ①令和〇年には〇〇を更に増産。〇〇使用の商品開発を会員事業所と共に更に進めると同時に、販売量を増やすことで、商品による当市の歴史的資産と農産物のPR活動を進める。 |
| ②商品によるPR活動で、〇〇に対する価値や認識を高め、〇〇栽培に関する魅力を地域へ訴えることで、農業者への波及効果も高めていく。また、〇〇年の〇〇パーク(〇〇球場)開業でも地域の魅力発信に有効に活用する。 |

| 9. 活動状況がわかる写真、効果を示す図表 (必須) | |
|--|--|
| ※活動を代表する写真を3枚以上添付してください。 | |
| ※写真・図表の説明を20字以内で記入してください。 | |
| ※第三者の肖像権、著作権、プライバシー等を侵害することのないよう十分に御注意ください。 | |
| ※写真等を貼り付ける際は圧縮するなどして、Wordのファイルサイズが5MB以下となるようにしてください。 | |
| <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div> | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">写真・図表等</div> |
| () | () |

| | |
|--------|--------|
| 写真・図表等 | 写真・図表等 |
| () | () |
| 写真・図表等 | 写真・図表等 |
| () | () |

10. 表彰等の受賞歴（該当あれば） ※現在、応募中の表彰等も記入してください。

| | |
|------------|-----|
| 表彰名等（受賞年度） | 主催者 |
| なし | |

11. 活動に関するPR・エピソード（自由記入、写真等添付可）

※応募用紙が3ページを越えないようにしてください。

本プロジェクトのきっかけは、〇〇という歴史的資産が有効活用されず、県内の生産者でさえも、〇〇の偉業が知られていない状況から、農村地域の維持・活性化と〇〇業者の経営の安定に寄与できる活動を行う事で課題解決をしようということ。

この偉業の事実を有効に発信するため、キャラクターの開発に取組んだほか、〇〇を栽培してくれる農家を探るところから始まった。当会の思いを理解してくれる農家が見つかったものの、経験のない〇〇の栽培は難しく、特徴である長い〇〇が邪魔をして、当初は機械化が出来ない栽培となり、乾燥作業も手作業の天日干しであったが、機械設備を調整するなどして、現在では乾燥機による乾燥も可能となった。

それでも作業時間は現代〇〇の約〇倍、収量は半分以下と、決して採算がとれる作物ではないが、〇〇では〇代目となる〇〇へと事業継承され、〇〇も継承された。

〇〇では、前述のとおり〇年以上も殺虫剤を使用しない他、有機肥料使用で低農薬に拘り農業を営んできた。〇年前には田んぼに“〇〇”が戻り、〇〇が推奨品種として栽培されていた頃の原風景が広がり、本プロジェクトのPR活動にも大きく影響をもたらした他、〇〇使用の商品開発での引き合いにも大きく貢献した。また、同圃場では〇〇を肥料として有効利用し、環境に配慮した循環型の〇づくりの実験にも着手している。いつの時代にも熱い思いを抱く開拓者の尽力があったからこそ、現代の“〇〇”“〇〇”へとつながった。当町の赤毛米による活性化は次世代への継承・景観形成・歴史文化伝承・食育・特産品開発等、様々な分野に発展し定着してきている。

| | |
|--|-------------------------------------|
| 12. 応募いただいた連絡先に、今後、農水省より各種施策等に関する情報をお知らせする場合があります。希望する場合は右の□に✓をご記入ください。 | 情報を希望する <input type="checkbox"/> |
|--|-------------------------------------|

- 【注意事項】
- ① 記入欄に指定された文字数の範囲内で記入してください（文字の大きさも変更しないでください）。
 - ② この選定は、農林水産行政施策の推進として、選定された取組内容を全国へ発信することが目的であることから、応募用紙に掲載いただいた内容及び写真については、農林水産省が行う広報活動及び地方公共団体への情報提供等（農林水産省ホームページへの掲載、選定事例集への掲載、政府施策紹介資料への掲載など）に使用することがございますので、あらかじめ御了承ください。（個人名については公表、使用はいたしません。）
 - ③ 提出いただいた応募用紙等については返却いたしませんので、あらかじめ御了承ください。
 - ④ 12 に✓をご記入いただいた場合、ご連絡先情報を農水省内関係部局に共有させていただく場合がございます。